



昼夜の寒暖の差はありますが、お昼のポカポカな陽気が、春を感じさせてくれるようになりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。巣立ちの春に、心からのエールを送ります。また、この1年を振り返り、ひのみね支援学校の一人一人が自分のペースで大きく、たくましく成長した姿を大変嬉しく思います。本年度も、保護者の皆様には様々なPTA活動をはじめ本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

## ひのみねアートの魅力

原田 真由美



校内には、四季折々の児童生徒の皆さんの作品が掲示されています。

毎日廊下を歩いていると、作品が目飛び込み、不思議と日によって、見た作品の印象が変わることがあります。さらに言えば会場や隣の作品が変わると同じ作品であっても別の作品のような印象を受けることさえあります。そして、見る人の気持ちが変わる、癒やされたり、どのように作っているのかな？と考え込んだり、作っている姿や作っている時の気持ちを想像したり・・・それがアート鑑賞の楽しみでもあります。

個々の作品としても、また校舎内を彩る共同作品としても、見応えがあり、それぞれ子どもたちの実態は違いますが、それぞれの方法で表現し、個性が発揮された作品たちから放たれるエネルギーは人の心を動かします。

そんなひのみねアートは、今年度も地域社会に飛び出し、いろいろな場所でいろいろな人に見ていただく機会がありました。ひのみねの子どもたち一人一人が主役になる機会として、またひのみねの子どもたちを知っていただく機会として大きな役割を果たしています。

ただいま「徳島県特別支援学校きらめきアート展」web会場が3月24日（金）まで開催中です。絵の具や材料の感触を味わいながら、教員や友達と話しながら、力加減を意識しながら、匂いや音を感じながら、誰かに見てもらいたいなど思いながら制作された、その瞬間に生まれた決して同じものはない作品たちの魅力に浸るチャンスです。21世紀館に足を運びそびれた方も、すでに会場で見られた方も、是非ご覧ください。



きらめきアート展はこちらから→



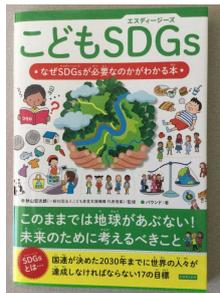
## ～ 人権に関する本の紹介 ～

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているヤングケアラー。仕事、結婚、子育てを通して、悩みにぶつかりながらも失われていた感情を取り戻すための再生の物語です。このような現実を知り心が苦しくなる内容ではありますが、希望も見ることができます。一冊です。



## 誰でもお気軽にお借りください♪

わかりやすい文章で漢字にふりがながついており、カラーのイラストが多く描かれているため読みやすい一冊です。内容がしっかりしており、大人でもSDGsについて理解を深めることができます。親子でクイズを出し合いながら、楽しくSDGsを学ぶことができます。



# 進路指導についての紹介

毎年、2月に新年度へ向けてのニーズ調査表の提出があります。進路希望欄をご覧になって、手が止まったというご経験はないでしょうか。高等部卒業時までの子どもたちの育ちや卒業後はどのような生活を送るのかを考えていただき、現在の希望を伝えていただく機会になればと思います。

■進路希望 (小学部は5、6年生のみ記入)

小学部	進学 (本校中学部、他校)	その他 ( )		
中学部	具体的学校名等 ( )			
高等部	進学 (本校高等部、他校)	その他 ( )		
高等部卒業後	具体的学校名等 ( )			
【日中活動】	施設	進学	就職	その他
【生活の場】	自宅	施設(入所)	その他	
希望等…具体的な施設名や学校名があれば記入してください。				

※ニーズ調査表より

## 関係機関との連携

高等部では、本人の実態やニーズに応じた卒業後の進路選択に向けて、3年間をとおして取り組みを進めています。在学中には取り組みの節目として関係機関の方に来校していただく機会を設けて、卒業後のよりよい生活に向けての連携を図っています。

### 拡大進路相談

対象：高等部2年生 実施時期：2月頃

※ひのみね総合療育センター生で卒業後も療養介護サービス利用予定の場合は実施していません。

参加者：本人、保護者、担任、学部長、進路担当

参加関係機関：相談支援事業所、就業・生活支援センター等

内容：それまでの就業体験等の進路指導状況を確認したうえで、3年生での進路指導の方向性について共通理解を図ります。

### 移行支援会議

対象：高等部3年生 実施時期：2～3月

参加者：本人、保護者、担任、学部長、進路担当

※ひのみね総合療育センター生で卒業後も療養介護サービス利用予定の場合は担任、学部長、進路担当が参加します。

参加関係機関：相談支援事業所、就業・生活支援センター、進路先職員等

内容：本人・保護者とともに作成した移行支援計画をもとに、卒業後の生活について確認したり、情報交換を行ったりする引き継ぎの機会となっています。



## 高等部の取組

### テレワーク実習

生徒1名が3日間の在宅勤務体験学習を行いました。オンラインで、企業の担当の方から画面越しにご指導を受けました。在宅勤務の各地の社員の方とながって会話したり、課題に向き合いプレゼンしたりしました。在宅勤務の実際について学ぶことができました。



## 耳寄り情報

「全国医療的ケアライン(アイライン)」に登録された家族会を繋ぐ全国フォーラムが昨年9月18日に開催されたそうです。講演会では、医ケア児者の保護者の方からのお話があり、その様子はYouTubeで配信されているそうです。卒業後の話題にも触れている部分があるようです。是非、『全国医療的ケアライン 全国フォーラム 動画』で検索してみてください。